Phak chii

2022 年 10 月号

2022 年 10 月より社会保険の適用範囲が拡大されます。社会保険は協会けんぽ(医療保険)と厚生年金がセットになったものというのが一般的な考えです。協会けんぽ以外に業種によっては既に加入している医師国保、税理士国保、東京弁護士国保等を活用し協会けんぽの適用除外申請することで厚生年金とセットの社会保険加入要件を満たす事も出来ます。

税理士法人ＰＬＵＳ１

〒542-0081
大阪市中央区南船場 1-16-10　大阪岡本ﾋﾞﾙ５階
電話：06-6264-6135　ＦＡＸ：06-6264-6136

【社会保険料の延滞金は経費にできる？】

税金は決められた期限までに納める必要があります。例えば法人税は決算日の翌日から２カ月以内に納付しなければなりません。期限までに納付しなかった場合、納期限の翌日から２カ月を経過する日までは「年７．３％」か「延滞税特例基準割合＋１％」の低いほうを、納期限から２カ月を経過する日の翌日以後については「年１４．６％」か「延滞税特例基準割合＋７．３％」のどちらか低い割合で計算した延滞税というものが本来の税金以外にかかってきます。ちなみに延滞税特例基準割合とは、財務大臣が告示する平均貸付割合に、年１．０％の割合を加算した割合のことです。また延滞税以外にも過少申告加算税・無申告加算税・不納付加算税・重加算税といった多くの加算税もあります。これらの税金は、法人税を計算する上では損金不算入となり経費として認められません。一方で社会保険料や労働保険料についても、納期限までに保険料を納めなかった場合、同様に延滞金を支払わなければなりません。ただしこの延滞金については、法人税を計算する上では損金に算入することができます。同じ罰則的な意味合いの延滞金を支払っても、処理の仕方はまったく異なります。いずれにしても本来は支払う必要のないお金です。税金や社会保険料などは、しっかり資金繰りをして期限までに納めるように心掛けましょう。

オイシイ！ ブラックシャインマスカット「富士の輝」

李です。不動の人気、シャインマスカットの美味しさは皆様よ～くご存じかと思います。シャインマスカットとウィンクを交配した新品種「富士の輝」は皮ごと食べることが出来る葡萄で、糖度が最大 30%に達するものもあるそうです。通常、甘いと言われる葡萄の糖度は 17-18%。現状は未だ超希少品種で、そのお味はシャインマスカットに比べ、濃厚でコクのある甘味と巨峰の様な力強さが特徴。マスカット系より黒、赤系の葡萄がお好みな方には是非オススメしたい葡萄です。

【ストーリーで売るお手本】

「宇宙パズル」は宇宙飛行士選抜試験に使われたホワイトパズルをモチーフにした、真っ白なジグゾーパズルです。九十九ピースでも二時間を要するほど難しく、ディスカバリーに搭乗した山崎直子さんが取り組んだ三百ピースはさらに難易度が上がります。驚くのはその販売数で、販売開始から十年で二十二万個も売れています。何の変哲もない白いパズルに、宇宙飛行士と同様の忍耐力を鍛えるという醍醐味（だいごみ）を与えた、ストーリーで売るお手本のような商品。

【迷ったら「変化」を選ぶ】

帝国データバンクによれば、今年 100 周年を迎える日本企業は 1065 社。「100 年企業」は約３万社（日経ＢＰコンサルティング調査／２０２０年３月時点）にものぼるそうです。世界の「100 年企業」が約８万社なので、日本は世界でもまれに見る長寿企業大国なのです。振り返ってみれば、100 年前は第一次世界大戦後の不況が続き、関東大震災があり、また戦争があり、高度経済成長期を経験してオイルショックが２回あり、その後バブル経済やＩＴバブルがはじけ、リーマンショック、阪神淡路大震災、東日本大震災、そしてコロナが世の中を大きく変えました。こんな苦難な時代を乗り越えてきた「100 年企業」には、キユーピー、ハウス食品、清水建設、竹中工務店、小学館、任天堂、グリコ、旭化成など、誰もが知っている有名企業がずらりと並びます。２０１１年版中小企業白書によると、創業５年以内に廃業する率は約２割。そんな状況の中、100 年以上の歴史を重ね、今なお経済をリードしている企業には３つの共通点があるようです。「変化をいとわない」「社員を大事にする」「地域貢献」。中でも注目したいのが「変化をいとわない」です。物事がある程度長く続くと、過去の成功体験やしがらみなどに縛られて大胆な選択ができなくなってきます。すると「ここまで続けてきたからやめるわけにはいかない」という気持ちが大きくなり、継続していくことが目的になってしまいがちです。しかし現状維持は衰退の第一歩。長く続けていくためには、今までとは違う選択をすることが継続への活路になることもあります。革新的なことをすると批判も受けますが、常識に捉われずにチャレンジし続けた結果の「100 年企業」なのでしょう。日本のコンビニの父、鈴木敏文さんは

以前「人間は一方で何かにしがみつきながら、もう一方で新しいことに挑戦することはできません。自分では一歩踏み出したつもりでも、思うように前に進まない人は、無意識のうちに何かにしがみついているのかもしれません」と言っていました。自分は何かにしがみついていないだろうか。迷ったら変化を選ぶ大胆さと勇気を持ちたいものです。

今月のいろいろ「掲示板」

勉強会のお知らせ

10/21（金）・11/11（金）に『決算書の読み方セミナー』を弊所会議室にて、実施致します。

財務諸表の基本から、おさえておくべきポイント、実務への活かし方など、基本的な項目から丁寧にご説明致します。講師は**佐藤圭浩**が担当致します。両日とも内容は同じで、**14：00～16：00** の時間帯で実施致します（各日共に定員４名）。若い世代のご参加をお待ちしております。お問い合わせは☎✉で！先着順、無料勉強会。

「いつの日か」は決してやってこない

イギリスの出版会社の経営者であるヘンリー・ジョージ・ボーンの言葉。仕事でも家族サービスでもダイエットでも「思い立ったが吉日」精神を肝に銘じておこう。